

令和2年3月18日

卒業生・修了生の皆様

倉敷市立短期大学
学長 安達 励人

はなむけのメッセージ

令和元年度卒業生・修了生の皆さん、倉敷市立短期大学の卒業および専攻科の修了、おめでとうございます。本来なら、卒業式で皆さんに直接お祝いの言葉を申し上げるところですが、ご承知の通り、今年度は式典の開催が叶いませんので、教職員を代表してここにはなむけのメッセージをお届けし、皆さんの門出を見送ることとします。

卒業生・修了生のみなさんは、2年間あるいは4年間、ここ稗田の丘に建つ本学に通ってこられました。学内外での様々な出会いや経験を通して、一人ひとりが大きく成長されたことと思います。小学校入学から始まった長い就学期間を終えて、春からは社会人になる人も多くいます。しかし、学校の教育課程を修了した後も、自己教育は続くことを忘れないでほしいと思います。学びは必ず成長につながります。そして、成長は成功の可能性を高めるはずです。困難や挫折にぶつかった時、成功だけに目を奪われるのではなく、それが自分自身の成長につながっているかどうかを考える視点を、持ちつづけてほしいのです。

ただし、卒業後は、自分がどれくらい成長したのかが、わからなくなることもあるでしょう。そんな時は、ふたたび稗田の坂をのぼって、倉短に帰ってきてください。キャンパスを歩いたり、校舎のたたずまいを眺めたり、学生たちの声を聞いたり、ピロティでお茶を飲んだり、教職員とおしゃべりしたりしていると、皆さん自身の学生時代のことが思い出されるでしょう。あの頃の自分は何をしていたのか、どんなことを感じていたのか、ほんとうは何がしたかったのか、どんな将来を思い描いていたのかなどの鮮やかな記憶が、不意によみがえるかもしれません。言い換えれば、ここは、皆さんがいつでも元の自分に戻れる場所です。倉敷市立短期大学は、皆さんの人生の里程標のひとつとして、これからの皆さんの成長を映す鏡でありたいと思います。

羽ばたく翼に万感の思いを乗せて今日この学窓を巣立っていく皆さんの、今後のご健康とご多幸を、心からお祈りします。

